



送付枚数：5枚

仙台BOSA I-TECH Future Awards

段ボールジオラマで見る「多賀城市の歴史・災害・文学」

令和6年2月1日

本市では、仙台市と共同で「防災」と「IT」の掛け合わせによる「BOSA I-TECH事業」の一環として「仙台BOSA I-TECH Future Awards」を実施しています。

今年度採択した事業として、震災伝承及び防災意識の向上等を目的とした段ボールジオラマの展示を実施します。報道・取材方よろしくお願ひします。

記

- 日 時 2月10日（土）～3月11日（月）
9時～21時30分まで（図書館開館時間中展示）
- 場 所 市立図書館（1階カウンター付近）
- 内 容 別紙「概要資料」のとおり
- その他 展示初日の2月10日（土）9時～11時まで、会場で各担当者が取材に応じます。
また、仙台市「BOSA I-TECH事業」の詳細は、仙台市経済局産業振興課 ☎022-214-8263（直通）へお問い合わせください。

《問い合わせ》

総務部危機管理課防災減災係

☎022-368-2079（直通電話）



多賀城創建記念

TAGAJO 130th Anniversary
724-2024

仙台BOSAI-TECH Future Awards

段ボールジオラマで見る「多賀城市の歴史・災害・文学」

展示概要

1 実施背景

本市は、東日本大震災で大きな被害を受けましたが震災の爪痕がほとんど残っておらず、市民や市外から訪れた人が震災被害を知る機会が限られているという課題を抱えています。

震災アーカイブサイト「たがじょう見聞憶」や、多賀城高校災害科学科による「津波波高標識」の設置や「津波伝承まち歩き」などの活動が行われていますが、より多くの人に震災伝承・防災教育を届けることができるソリューションを探すべく、仙台市が主催する「仙台 BOSAI-TECH Future Awards 2023」のテーマのひとつとして広く提案を募集しました。

2 実施のねらい

- 多賀城市全域の地形を再現した段ボールジオラマ（縮尺 1/7500）により、多賀城市の地形や海との近さを体感してもらう。
- ジオラマに津波浸水想定シミュレーション動画をプロジェクションマッピングすることで、東日本大震災時を上回る津波の浸水範囲やリスクを、わかりやすく体感してもらう。
- 防災コンテンツだけでなく地域の歴史や文学とも関連させた展示とすること、またプロジェクションマッピングや AR の活用、関連書籍の陳列などにより、普段防災への関心が低い層にも防災情報に触れてもらう機会をつくる。

3 期間 令和6年2月10日（土）～3月11日（月）まで

4 場所 多賀城市立図書館（1階カウンター付近）

5 時間 9時～21時30分まで（図書館開館時間中展示）

6 内容

(1) 津波動画のプロジェクションマッピング

- 多賀城市津波浸水シミュレーション動画
- 東日本大震災時の津波浸水状況

(2) ARコンテンツ

- 多賀城高校による津波伝承まち歩き「MAP」
- 多賀城の歌枕
- 多賀城 史跡周遊コース

(3) 関連書籍の展示等

7 主催 多賀城市

8 共催 仙台市

9 協力 一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク、宮城県多賀城高等学校

10 問合せ先 多賀城市総務部危機管理課 TEL.022-368-2079

11 その他

(1) 取材対応

展示初日の2月10日（土）9時～11時まで、会場で各担当者が取材に応じます。

(2) 多賀城高等学校での展示

本展示終了後、3月12日（火）～3月22日（金）まで多賀城高等学校において、同展示を実施します。

(3) 仙台 BOSAI-TECH イノベーションプラットフォームについて

仙台市が主催・運営する防災×テクノロジー×ビジネスを融合した防災課題に対する新たな解決策を持続的に生み出すプラットフォームです。各領域の人材・企業が交流するイベントの開催、新事業創出を目指すプログラムの開催、アイデアやプランを試す実証実験のサポートと結果の共有といった活動を行い、防災関連の新しい製品・サービスの開発を支援しています。

URL： <https://sendai-bosai-tech.jp/>

@多賀城市立図書館
(1F カウンター付近)

段ボールジオラマで見る

2024.2.10
→ 3.11

多賀城市の歴史・災害・文学

～末の松山 波越さじとは～

多賀城市の地形を7500分の1の段ボールジオラマで再現

ボクも
いるよ!

プロジェクション
マッピング

スマホを
かざしてAR



東日本大震災を超える
津波浸水想定



多賀城高校による津波伝承
「まち歩き」MAP



過去の災害の教訓も
多賀城の“歌枕”

【場所】 多賀城市立図書館 (1F カウンター付近)

【期間】 2024年2月10日(土)～3月11日(月) 【時間】 9:00～21:30 (期間中無休)

●主催:多賀城市 ●共催:仙台市 ●協力:一般社団法人 防災ジオラマ推進ネットワーク/宮城県多賀城高等学校
(この展示は仙台市の「BOSAI-TECH事業」との連携により実施しています)

<お問合せ> 多賀城市 総務部 危機管理課 TEL .022-368-2079

展示内容

- 約2分 : 【プロジェクションマッピング】 多賀城市津波浸水想定シミュレーション動画
- 約1分 : 【プロジェクションマッピング】 東日本大震災時の津波浸水状況
- 約7分 : ジオラマをご覧になったり、ご自身のスマートフォン等でARコンテンツを体験いただけます
(以降繰り返し)

ARコンテンツの体験方法

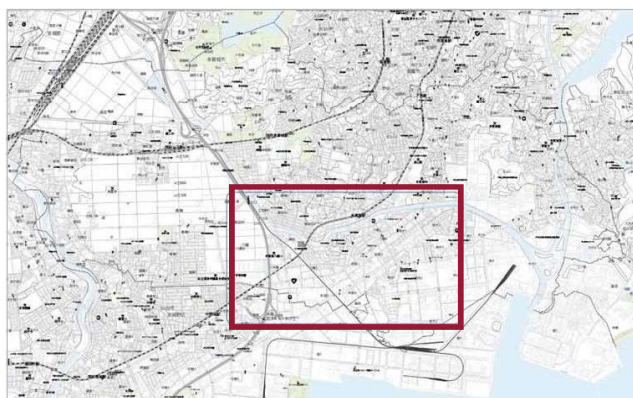
- ① スマートフォン等で下記のQRコードを読みこんで、コンテンツ一覧ページにアクセスしてください。
- ② 掲載されたコンテンツの中から、ご覧になりたいものをタップします。
- ③ カメラへのアクセスを許可し、スマホをジオラマにかざします。(下記位置参照)
- ④ 表示された画像をタップすると、詳細の説明や動画などにリンクします。

ARは
こちらから



スマホをかざす位置の目安

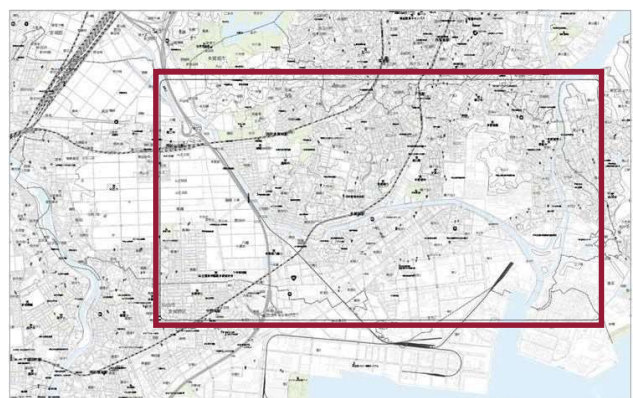
津波伝承「まち歩き」MAP



多賀城の歌枕



多賀城 史跡周遊コース



たがもん



アンケートに
ご協力ください

ジオラマ左側の棚にあるアンケート用紙または右のQRコードから、
今回の展示に関するアンケートにご回答いただけますと幸いです。

